

Rotary



2019-20 年度 R I のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」  
RI 会長 マーク・マローニー (ROTARY CONNECTS THE WORLD)



## 八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル

●ガバナー 沼田 廣 ●会長 吉田 賢治 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 小原 隆平

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

### 第 2139 回 例会 記録

《会員卓話例会》

2020 年 3 月 12 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1571

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



### 《会長要件》 吉田会長



今日も沢山のメンバーにお集まりいただきありがとうございます、今現在南グループの中の八戸市内で例会を行っているのは当クラブしかありませんが、この様にお集まりいただき本当に嬉しく思います。マーク・マローニー RI 会長よりのメッセージをお伝えしたいと思います。

朋友ロータリアンの皆様、ロータリーでは会員の皆様の健康と安全を最優先し、新型コロナウイルスの状況をモニタリングしながら、ロータリーの運営、研修セミナー、各種行事における影響を継続的に注視しています。状況が刻々と変わるため、クラブと地区の会合や行事、ロータリーのプログラムと活動については皆様各自で判断されることを推奨いたします。会合やロータリー関連の旅行は中止、又は延期するのが最善かも知れません。予定通り行事が開催される場合でも欠席を選ぶ人もいるでしょう、もちろん WHO 及び皆様の国、または地元保健当局がウイルス拡散防止のために集会や旅行の延期、中止を勧告したり禁じたりした場合には、その勧告に従ってください。地域のリーダーである皆様には、現在地域社会のニーズを考え援助を提供することを推奨いたします。地元保健当局に連絡しコロナウイルス発生の準備や対応のためにロータリークラブに何ができるかをご検討ください。皆様とご家族、並びに全ロータリーファミリーの皆さんの健康と安心を心よりお祈りしています。心を込めて というメッセージをマーク・マローニー会長より頂いております。

このようなメッセージをいただいた中でこのように会員の皆様に集まっていたいただいているのは嬉しい限りです。45 周年関連の行事も色々形を変えながら実施しようとしておりますし、ゴールデンウィークに向けては蕪島海岸清掃、昨年までは八高の生徒さんと一緒に行っておりましたが今年は会員だけでも実施できればと考えておりますので、皆様も体には気をつけながら次回の例会にもよろしければ出て頂き、元気な顔を皆で見せ合いながら良い活動をしていければと思っておりますので、よろしくお願

### 《出席報告》 原会員



正会員数 36 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 23 名。出席率は 70% です。前々回の例会は、ロータリー創立記念例会で出席率 66% した。

いたします。

### 《幹事報告》 伊藤幹事



・臨時理事会報告

○規定審議・戦略計画委員会より先週の委員会でクラブ定款・細則の変更を協議したことの報告があり理事会で承認しました。3 月 26 日の例会で会員の皆様にお諮りいたします。

○会員増強委員会より新会員推薦があり理事会で承認いたしました。新会員候補者 小倉翔太さん、32 歳、株式会社カネク醸造取締役、職業分類 ビール醸造・販売、スポンサーは三川会員です。入会にご異議のある方は 3 月 26 日正午までに文書にて幹事まで申し出てください。

・八戸北 RC より 50 周年記念式典・祝賀会延期のお知らせが届いています、詳細は決まり次第ご連絡致します。

・八戸 RC より 3 月いっぱい例会を休止します、メーキャップ受け付けはしません、と連絡がありました。

・東第 1、第 2 グループ合同 IM 延期のお知らせが届いています、6 月 13 日に延期することです。

・五所川原 RC より 60 周年の記念誌が出席された方に届いており米内会員よりクラブへご寄贈頂きました。ご覧になりたい方は事務局まで。

### 《ニコニコボックス》 慶徳委員

吉田会長：今日は会員卓話例会です、吉田立盛会員よろしくお願

伊藤幹事：吉田立盛さん、今日はよろしく!!

米内会員：吉田立盛さん、今日は楽し



みです。

西村会員：立盛さん、卓話楽しみにしています。

結婚記念日：松橋会員

### 《会員卓話》吉田立盛会員



皆さんこんにちは、今日は私が岩手県の久慈市でやっている NPO 法人 mazel.be (まぜるべ) という事業所の紹介をしたいと思います。mazel.be というちょっと変わった名前の法人ですけれども、事業所の理念としてはインクルーシブな社会を作るといふことと、地域で一番働きたいと思える組織にするといふことと、人材育成を常に戦略の中心に据えるといふことで取り組んでいます。法人の概要は、特定非営利法人 mazel.be で私が理事長をしています。場所は久慈市門前です。事業内容は放課後ディサービスといふ障がいをお持ちのお子さんが放課後に活動する場所と放課後健全育成事業、いわゆる学童保育、放課後クラブを 4 月からスタートします。従業員数は 11 名、法人の設立は平成 25 年 4 月 1 日です。

インクルーシブという言葉は福祉関係者以外はあまり聞きなれない言葉ですけれども、多様な人たちがまざり合った社会を作りたい、障がいのある人とかいろいろな人が世の中に居りますので、そういった人たちがいることが普通になるような社会を作りたいといふことを大事な理念として掲げております。

mazel.be という法人名称ですけれどもインクルーシブな社会にしたい、障がいのある人もない人もまざり合った社会にしたいという思いでまぜるべという南部弁、それをちょっと英語表記にしておしゃれな感じにしています。まぜるといふのは混合の混ぜるではなく交わるという方の交ぜ合わせるの意味を込めています。障がいのある人たちがまじるという社会にしても、只まざり合った社会だとカオスになってしまうので交わるほうの交ぜる(個体の性質を失わずに区別がつく)の方の交ぜるにしたいと思っています。簡単に言うとコーヒーにミルクをまぜる方のまぜるは混合の方の混なのでコーヒーにミルクを混ぜるともとのミルクを取り出せなくなります、頭に白髪がまざるといふのは交わるほうの交ざるなので個体の性質は失わずに区別がつく状態で交ざり合った状態、つまり一人一人の個性を失わずに交ざり合った状態、そういう社会を作りたいなという思いを込めた名称にしています。

障がいのある子供さんを預かるだけでなく障がいのない普通のお子さんも一緒に預かる事業を 4 月から行います、いわゆる高齢、児童、障害、貧困、人種、特に LGBT とか個性や多様性を尊重して差別や偏見をなくして、誰もが暮らしやすい、そんな地域社会を作りたいという思いで事業活動をしています。

なんで久慈市で事業を拡張したのかという、久慈市が出しているデータを見ると久慈市内の世帯の平均所得が大体 250 万円だそうです。1 人ではなく

世帯の平均所得です。1 世帯で平均 250 万円ということはかなりの方が貧困家庭に分類してもいいような状態になっていて、一定の子どもたちはお金がなくて放課後通うところに行けない、そういう子供がいると思ったのでこういう事業活動をしようかなと思いました。取り組んでいるのは、どうすれば差別や偏見が無くなるのかということですが、皆さんと一緒に考えてみたいのですが、日本財団というところがダイバーシティとかインクルージョンの意識調査を全国 5,000 人、10 代から 60 代までの人に調査をしたところ 88.6%の人が多様性に富んだ社会の重要性を感じていて 72%の人がダイバーシティ、インクルージョンの推進に前向きだと、95.9%の人が社会的マイノリティ、いわゆる少数派の人たち、障がいのあるかたは大体 6 パーセントくらいなので少数派になります。そういう社会的マイノリティに対して差別や偏見があると感じています。95%が差別や偏見があると感じていて 73%が実際に心の壁があると意識した経験があると答えています。社会的マイノリティに対する差別や偏見は 10 代が 61.6%と最も低く 60 代以上の 72.9%と 11.3 ポイントも差があります。先輩方が大勢いる中言にくいのですが年齢が高くなるほど差別という心の壁というものを感ずることが多いという調査結果になっています。心の壁の感じ方はどういうところに感ずるかという、一番は障がいのある人に対してコミュニケーションが取りづらい、二番目に日常的な仕事や行動が出来ないことが多いだろうと感ずる、三番目は自分と価値観が大きく違うだろうと思う、というのが心の壁の感じ方だそうです。社会的マイノリティ、いわゆる障がいのある人により多く、より深くかかわった経験のある人はそういう経験のない人に比べて心の壁が少ない、日常的に障がいのある人とかかかわっている人はコミュニケーションが取り辛いとかできないだろうという先入観はあまり持っていないという調査結果になっています。ですから心の壁の第一番目は接し方が分からない、障がいのある人とどうやって接すればいいか分からない、自閉症の子供を見てもどうすればいいか分からない、第二はあまり接したことがないから分からない、第三はよく知らないからという調査結果が出ています。この調査結果から、要は周りにいないから知らないだけだなど、私たち法人で話し合ったときに、知らないから壁があるんだろうな、みんなが知っている状態になれば心の壁は減るだろうと、しかも 10 代とか若いうちに、先入観があまりないうちに障がいのある人もない人も一緒に過ごせるような場所を作れば良いんだろうなと感ずて、心の壁が少ない児童期に障がいのある子もない子も一緒に入れる場所を作りたいと思っています。

今現在日本中ほとんどの学校区に学童保育というのがあるのですが、小学校はインクルーシブ教育と言って障がいのある特別支援学級のお子さん、昔だと特殊学級とか青空学級とか言ったのですが、その特殊学級の子も普通級の子どもも



今は割と一緒に小学校の中で授業を受けています。ところが放課後になると障がいのない子供は学童だったり児童館に行くのですが障がいのある子は放課後等デイサービスと言って障がいのある子供だけが行く施設に行きバラバラになります。日中はせっかく一緒に過ごしているのに放課後になるとバラバラになる、これだと障がいのある子は特別なんだなと心の壁を作ってしまうと思ってみんなと一緒に居られる場所を作りました。2階部分を放課後等デイサービス、1階部分を所謂学童施設ということで、放課後障がいのある子ない子関係なく一緒に過ごせる場所を作ろうと思って準備しています。

久慈市の世帯平均所得が低いことに対しても、利用料全国平均月1万円位なのですが、その1万円をちょっと払えないなというお子さんたちが4割程度いらっしゃる、4割の中には親が専業主婦で家で見えるから大丈夫だよと言う子も入っていますけれど、一定数その貧困世帯で自宅で1人で過ごしているというお子さんもいらっしゃるということで、利用料も安く抑えるようにして、成長の機会を奪われているような子供にも機会を提供したいということで、障がいのある子もない子も一緒に過ごせて、なおかつ低料金で提供する事業をスタートするところです。

事業所の名称は「放課後等デイサービスCOCO'R(ここあーる)」です。COCO'Rは発達過程や成長に寄り添うために必要なのは子供たちの心に寄り添うこと、心をまたちょっと英語っぽくカッコ良くしてみました。みんなの居場所がここにあるCOCO'Rという名前にしてあります。

ライフステージに応じた切れ目のないサポートをしていこうと今は事業展開をしているところです。就学前ではなく学童期、いわゆる小学1年生から高校3年生くらいまでの子どもを見ているのですが、生活に必要なスキル、ADLと言って日常生活に必要な動作とか、集団の中で他の人とうまくできるような社会的スキルを学んでもらったり、将来的には1日8時間労働というところを目指して、一つの活動に長く集中して取り組めるような職業的スキルを身



につけてもらったりというようなことをやっています。

久慈市で12月から5人から6人を採用していますが労働市場が小さくて募集をかけても中々人が来なくて困っていたのですが、お陰様でFacebookとかワーキンとかいろんなところの媒体を使ったら6人の募集に対して14人くらいの応募があり何とか4月のスタートを迎えるような状態です。

もう一つ御紹介したいのが、今新しく作った事業所で久慈市と福祉避難所協定というのをうちの法人が結びました。久慈市は川の氾濫が多く水害が多い地域です。市の中心部を川が流れておりいつも氾濫して床上浸水とかになっているので、地域の体育館とかが一時の避難所としてありますが、その一時避難所に避難していると自閉症のお子さんなどは独語といってぶつぶつ独り言を言ったり、大きい声を出したりして他の人に迷惑がかかるから避難所生活をさせられない、行き場がなく困っています。久慈市内には児童施設の福祉避難所が1個もなく、うちの法人で名乗りをあげさせてもらい市長さんと締結したのがつい先週の事です。高齢の方も避難所では満床だから受け入れられないということもありますが、



児童、特に障がいのあるお子さんのいる家庭は体育館などに避難するのが困難だという方を受け入れるということです。うちの事業所の規模が小さいので3人程度しか受け入れることは出来ませんが、もし災害が起きた時は1ヵ月程度受け入れるだけの備蓄とかは準備して受入をすることにしてあります。

VR映像製造の会社をやってみたり、こういう福祉の活動をしてみたり、実家で畑仕事をしてみたり、最近自分が何屋さんなのか分からなくなってきましたが、やりたいことをすべてやる感じでいいのかなと思っています。目標は久保田さんのように映像制作の会社をしながら保育施設をやりながらというようなホリエモンが言っている多動力を見習ってこういうことがやれば良いなと活動をしています。4月からオープンしますので皆さん遊びに来てください、よろしく願いいたします。